

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		学力向上推進ティーチャー					所管	教育委員会 指導課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	34	計画事業名	児童・生徒の学力向上			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 6 未来を担う子供を育む教育の推進					[事業開始] 平成19年度		[終了予定] -年度
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			学力向上推進ティーチャーの配置に関する要綱 等			
	事業対象	直接の対象 : 区立小中学校 最終的な対象 : 上記児童・生徒							
	事業目的	①主要教科における少人数指導による基礎学力の充実 ②放課後における学習指導の実施による基礎学力の充実 ③課題のある学級への派遣による学習環境の整備							
	事業内容 [H30年度]	区立小中学校に講師を配置し、主要教科における少人数指導やチームティーチング及び放課後等における希望者への学習指導を行い、学力と体力の向上を図る。また、課題のある学級に講師を配置し、学習環境を整える。							
	委託の有無	なし	委託内容		なし				
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度 目標値	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	対象小・中学校数(全校数26)	校	26	26	26	26	26	100.0%
	成果指標	派遣時間数	時間	36,892	36,740	36,724	36,394	37,444	97.2%
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			110,084	124,271	125,230		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			26	18	18		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			110,110	124,289	125,248		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			133	7,151	6,955		
一般財源(区負担額)			109,977	117,138	118,293				
課題及び今後の進め方	基礎学力に課題のある児童・生徒にとって、わかりやすい指導を検討する必要がある。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	学力向上は、学校の努力だけでは限界があるため、施策によりこの問題を解決する必要がある。						
	効率性	3	児童生徒の学力は、個人差・能力差のある集団の平均から計られるため、基礎学力に課題のある層を押し上げることで全体の平均が上がり、効率性を上げている。						
	手段の適切性	3	現状の教員定数では、基礎学力に課題がある児童・生徒に対し、チームティーチングによる個別対応や少人数指導の人員体制が十分に取れないため、講師を配置することは有効である。						
目的達成度	3	各校の事業実施計画に基づいた必要派遣時間数を配置しており、徐々にではあるが、昨年と比べると学力は向上している							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
基礎学力に課題のある児童・生徒の学習意欲向上のためにも本事業の必要性は高い。児童・生徒の基礎学力を定着させるため、講師向けの研修体制を充実させるなど、本事業の効果を高めていく。						改善		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	